

## 資 料 目 次

- 資料 1 福井大学専門職大学院国際地域マネジメント研究科の概要
- 資料 2 福井県の施策等
- 資料 3 専門職大学院構想に関する地域ニーズの調査結果について
- 資料 4 教育課程の方針
- 資料 5 福井大学「国際地域学部」の概要
- 資料 6 ① カリキュラムの全体像  
② 教育課程の特色  
③ 育成する能力と授業科目の連関
- 資料 7 英語教育のイメージ
- 資料 8 海外実地研修の詳細
- 資料 9 各海外実地研修のプロセス，院生の指導スケジュール
- 資料 10 国別海外実地研修受入れ拠点の状況
- 資料 11 海外実地研修時の危機管理対応
- 資料 12 交流・支援型からの協働・課題解決型コンソーシアムの形成
- 資料 13 国立大学法人福井大学職員就業規則（抜粋）
- 資料 14 履修モデル
- 資料 15 福井大学学術研究院教育・人文社会系部門総合グローバル領域  
倫理審査委員会要項
- 資料 16 大学院国際地域マネジメント研究科 院生研究室（イメージ図）
- 資料 17 基礎となる学部との関係
- 資料 18 専門職大学院の時間割（例）

( 白 紙 ペ ー ジ )

## 福井大学専門職大学院国際地域マネジメント研究科（2020年開設）

### 設置の趣旨・必要性

- 人生100年時代を見据え、リカレント教育の重要性が増す。高等教育機関でのリカレント教育が今以上に充実・拡大するためには、産業界、地方公共団体等と緊密に連携した実践的・専門的なリカレント・プログラムの開発等が必要。  
 < 「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（平成30年11月26日 中央教育審議会）>
- グローバリゼーションの進展と密接に関連する，地域経済の停滞，人口減少・少子高齢化に伴う国内市場の狭隘化や継続的な労働力不足の中，地域の企業や自治体は様々な課題を抱え，グローバル化や組織マネジメントに関わる専門的人材確保が急務。
- 本専門職大学院構想について，県内外の企業83社，県内11自治体に個別折衝を行った結果，67組織（全体の7割）が賛同。既に，企業が本専門職大学院への社員，職員47名の派遣を具体的に予定。



### 国際地域マネジメント研究科の概要と特色（入学定員：7名、専任教員：17名）

#### 養成する人材像

グローバル化の進展に関連して地方の企業や自治体が抱える諸課題の解決に挑戦する優れたマネジメント・リーダーの育成を基本とし，そのために必要な国際的な視野と専門知識，事業の企画・運営に必要な実践的能力，及び語学力を伴う交渉力を備えた人材を養成。

**（育成する高度専門職業人としての専門性）**  
 ア 国際的な視野の下で地域の企業や自治体の取組みの方向性を提起し，牽引するマネジメント・リーダーシップ  
 イ 事業の企画・運営に必要な専門知識と情報収集，活用能力  
 ウ 積極的に外国人との交渉を進めるために必要な，異文化受容性，コミュニケーション能力及びストレスコントロール力

#### 教育課程の特色

- ① **地元企業・自治体等との協働による社会人対象のリカレント教育。**
- ② グローバル化の進展に伴う企業の海外市場進出・市場開拓や自治体のインバウンド対応等の諸課題の解決に必要な外国語能力，国際的視野，専門知識，実践的能力を養う，**これまでにない分野の専門職大学院。**
- ③ **海外実地研修を理論と実践の往還のコアに位置付け。**  
 県内企業の海外拠点や福井県の海外事務所等（8カ国22ヶ所）で，自身のテーマに応じ実地研修。JICAとの連携による中期海外インターンシップ，ユネスコでの長期海外プロジェクト形式の海外実地研修も可能。
- ④ 単に大学院生の受入れに留まらず，派遣元となる各企業・自治体での人材育成や生涯に亘る学びの仕組み整備に関与し，**企業等との連携システムのモデル（中教審答申の「地域連携プラットフォーム（仮称）」構築を企図。**

### 全学的な学内資源の再配分とガバナンス改革

- 中期計画に基づき，全学的視点で大学院組織を見直し，既存の教育学研究科の入学定員の一部をこの専門職大学院に移行して，グローバル高度専門職業人および地域活性化の中核となる人材の育成拠点を整備。
- 学長裁量により必要な実務家教員を新たに年俸制で雇用。ここでの成果を既存の他研究科に還元し，全学的に大学院機能を強化。

( 白 紙 ペ ー ジ )

## 福井県地域グローバル人材育成事業

### ◆プログラム内容

#### 実践型海外留学（国外）

##### ＜留学先＞

・支援企業が提供する海外留学プログラム（下記3コースのいずれかに該当）を基に海外インターンシップや海外展示会の見学等を実施  
（語学留学のみは不可）



海外拠点でのインターンシップ等

＜期間＞ 28日以上2年以内

＜実施時期＞ 平成30年4月～10月留学開始

#### 県内企業でのインターンシップ（国内）

＜実施企業＞ 支援企業を中心とした県内企業でのインターンシップ

＜期間＞ 海外留学の前後の期間において、事前事後合計20日間以上実施

＜実施時期＞ 平成30年2月～

※ このほか、県内でのオリエンテーションや報告会、日本代表プログラムの事前・事後研修等への参加があります。

### ◆留学コース

#### 国際マーケティングコース

##### （市場・販路開拓）

○本県の輸出額の大半を占める中国・東南アジアを中心に、企業就職後、海外営業の分野等において活躍する人材に育つよう、現地の文化や商習慣、市場性や顧客のニーズを理解するとともに、新市場や販路の開拓に求められる、語学を含めた知識や経験、人脈構築に役立つことを目的としたコース

#### 海外生産マネジメントコース

##### （生産管理・人材育成）

○国内のみならず中国・東南アジアを中心に、企業就職後、現地での生産拠点の設置・運営、人材育成などのマネジメント分野において活躍する人材に育つよう、現地の文化や商習慣、電力・交通網等の現地インフラ事情や、工場の管理、コミュニケーション能力の理解・向上などに役立つことを目的としたコース

#### 未来ものづくり創造コース

##### （先端技術・商品開発）

○繊維や眼鏡など、ものづくり立県である本県の高い技術・創造能力のさらなる進展につなげるため、企業就職後、研究開発や商品開発の分野等において活躍する人材に育つよう、業種業態に拘らず、様々な分野における、最先端の知識・経験、専門性を高めることを目的としたコース

5

## 支援企業および提供可能なプログラム一覧（1/2）

①国際マーケティングコース（市場・販路開拓）

②海外生産マネジメントコース（生産管理・人材育成）

③未来ものづくり創造コース（先端技術・商品開発）

| 番号 | 企業名           | 業種              | プログラム | プログラム内容   |  |
|----|---------------|-----------------|-------|---|--|
|    |               |                 |       | 実践型留学   | 事前・事後インターンシップ  |
| 1  | 株アタゴ          | 繊維工業            | ②     | 海外拠点（中国）における就業体験（1週間程度）に語学研修を組み合わせたプログラムの提供が可能  | 【事前】<br>会社概要説明および工場見学と現場実習等<br>【事後】<br>業務体験（営業）と研修成果発表                       |
| 2  | セーレン㈱         | 繊維工業            | ②     | 海外生産拠点（アメリカ、中国、タイ等）における生産管理等の業務体験および語学研修を組み合わせたプログラムの提供が可能  | 【事前】<br>会社概要説明、事業所見学、現場研修等<br>【事後】<br>現場研修、研修成果まとめ、報告会                       |
| 3  | 日華化学㈱         | 化学工業            | ①     | アメリカ・中国・東南アジア（ベトナム・インドネシア）等の海外拠点でのパルチャーチェーン全般に係る就業体験および語学研修を組み合わせたプログラム提供が可能  | 【事前】<br>会社概要説明、本社および工場見学、現場研修等<br>【事後】<br>研修成果まとめ、報告会                        |
| 4  | 日信化学工業(株)     | 化学工業            | ①     | 海外インターンシップへの参加および語学留学を組み合わせたプログラムの提供が可能   | 【事前】<br>研究所（福井）にて製品紹介、開発実習<br>【事後】<br>本社（福井）にて業務体験、成果報告                      |
| 5  | フクビ化学工業㈱      | プラスチック製品製造業     | ①、②   | ①アメリカの取引企業におけるマーケティング等の業務体験や国際展示会等への参加を通じたニーズ調査を実施する海外インターンシップと短期語学研修との組み合わせたプログラムの提供が可能<br>②ベトナム工場（アマタ工業団地）での生産管理等の業務体験や同工業団地に立地する日系企業や取引企業への見学プログラムの提供が可能 | 【事前】<br>本社での現場実習、県内工場見学等<br>【事後】<br>本社での業務体験（営業・技術・事務部門）、最終成果発表              |
| 6  | 井上商事(株)       | 鉄鋼・非鉄金属・金属製品製造業 | ①     | ドイツを中心としたヨーロッパでの海外営業体験および語学留学を組み合わせたプログラムの提供が可能   | 【事前】<br>福井（本社・工場）での現場実習・工場見学並びにビジネスマナーの習得等<br>【事後】<br>本社での成果報告と支店・営業所での現場実習等 |
| 7  | (株)日本エー・エム・シー | 鉄鋼・非鉄金属・金属製品製造業 | ②     | 海外子会社（タイ・フィリピン）での職場体験（海外インターンシップ）および語学研修を組み合わせたプログラムの提供が可能  | 【事前】<br>会社ガイダンス、職場体験（製造・検査・物流部門）<br>【事後】<br>本社での成果報告と各部門における職場体験等            |
| 8  | 福井鉄螺㈱         | 鉄鋼・非鉄金属・金属製品製造業 | ②     | 海外拠点（タイ）での品質管理や生産管理等の業務体験（1か月）の提供が可能。   | 【事前】<br>技術教育部門での研修、工場見学等<br>【事後】<br>技術開発部門での現場実習                             |

#### 4. 「お互いプロジェクト」等を活用した本県企業の海外展開を支援し、成長するアジアの需要を取り込む

4-(1) 現状と課題

- ◎タイとの覚書に基づく「お互いプロジェクト」を活用するとともに、台湾、中国との経済協力関係を活かし、現地における本県企業の経済活動の支援を強化します。
- ◎バンコクビジネスサポートセンター、上海ビジネスサポートセンターを活用し、経済界・大学等と連携しながら、中国や台湾、および東南アジアにおける本県企業の販路拡大など、国際競争力の強化を図る海外展開を支援します。

【H32年の数値目標】

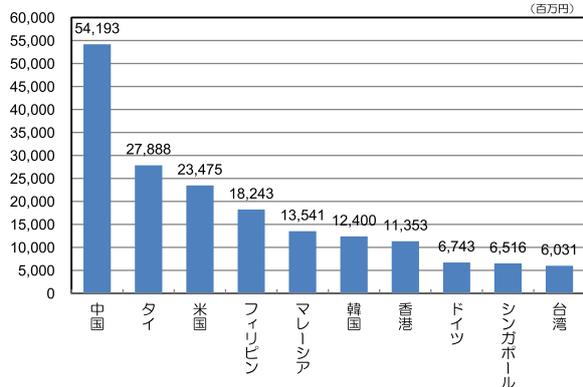
- ・アジア向け輸出額（H25：1,631億円）を年間2,300億円に引き上げる
- ・アジア進出企業の現地売上額を現在の1.5倍に引き上げる

※お互いプロジェクト…日本とタイの企業が連携し、お互いの産業補完を強化するためのプロジェクト

##### (1) 現状と課題

○本県企業の海外展開は、設置拠点や輸出額などで中国、東南アジアで大半を占める。

【福井県企業の輸出額上位10か国・地域(H25年)】



【出典：福井県の貿易】

○海外需要獲得のために積極的にグローバルに展開する県内企業も多数ある。

【福井県企業の海外拠点数】 (27年3月末、貿易促進機構調べ)

| 地域    | 製造拠点数 | 販売拠点数 | 拠点合計 |
|-------|-------|-------|------|
| アジア   | 112   | 173   | 285  |
| 中国    | 63    | 118   | 181  |
| 東南アジア | 39    | 38    | 77   |
| その他   | 10    | 17    | 27   |
| 中東    | 0     | 1     | 1    |
| 北米    | 11    | 14    | 25   |
| ヨーロッパ | 5     | 16    | 21   |
| その他   | 2     | 2     | 4    |
| 合計    | 130   | 206   | 336  |

○H23年9月、ふくい貿易促進機構を設け、上海の支援拠点での機能を強化し、本県企業の海外展開を支援している。さらに、東南アジア向け支援を強化するため、H26年11月、タイに支援拠点を開設した。

【相談件数】 3,792件 (H23年9月～H27年3月末)

【相談内容の事例】

- <海外進出> 現地法人の設立手続、進出に向けた市場調査等
- <販路開拓> 現地商談会への出展、食品市場に関する情報提供等

20

(中略)

4-(2) 今後の施策の方向性

##### (2) 今後の施策の方向性

ふくいバンコクビジネスサポートセンター（東南アジア）、ふくい上海ビジネスサポートセンター（中国、香港、台湾）を活用して、成長著しいアジアの需要を積極的に取り込みます。

県内企業の海外展開に向けたニーズを的確に把握し、県内産地主導への転換を図っている繊維、眼鏡の販路を拡大するとともに、日本酒や食品、伝産品など比較的規模の小さい商談も積極的に支援し、ビジネスチャンスの拡大につなげます。

##### ○富裕層・中間層に向けた販売を拡大する

【数値目標】

新たな現地バイヤーの発掘：年2社  
H31年の外国人宿泊者数：中国・香港・台湾7万4千人  
東南アジア3千人

※観光新戦略の基本目標に合わせ、平成31年の目標とする。

- ・繊維・眼鏡・地酒・食品・工芸品等の販売を拡大するため、現地バイヤーを発掘し、マッチングを強化する。特に、繊維や眼鏡で進めている、県内業界組合と連携した現地の業界団体や有力バイヤー等とのマッチングをさらに進め、機械等新たな分野にも展開する。
- ・消費者、現地バイヤー、現地旅行代理店などに向けた県産品や観光の総合プロモーションを開催する。
- ・台湾、タイ、シンガポールを中心に、旅行代理店向け商談会の開催、報奨旅行や教育旅行の働きかけ等により誘客活動を強化する。
- ・旅行商品の造成、現地旅行博への出展などで他県と連携し、本県への誘客を促進する。

##### ○本県企業・経済界・大学等のグローバル展開を促進する

【数値目標】

本県企業とタイ企業等との連携事業 H32までに5件  
新規輸出件数 年50件

(タイにおける展開支援)

- ・タイ政府関係者や企業等の招へいによる経済交流を促進し、本県企業とタイ企業との関係を強化する。
- ・「お互いプロジェクト」等を活用し、タイ工業省との連携による商談会等を開催し、本県企業とタイ企業との取引を強化する。



【台湾での商談会】



【タイでの物産展】

(後略)

## (2) 技術・ビジネスモデル革新に対応した人材育成

### 【現 状】

- I o TやA I等の情報通信分野における目覚ましい技術進歩が、従来の製造業や小売、サービス業などの業態に変化をもたらすことが見込まれる。
- グローバル化の進展により、県内企業の海外取引、海外事業の展開の機会が増えているが、多くの県内企業にとって費用や受入先の点で、研修の提供が困難である。

### 【課 題】

- これらの変化に対応し企業競争力を高めるため、情報通信分野の進歩に対応した人材の育成が必要である。
- グローバル化、I o TやA I等の技術革新に対応した人材の育成が必要である。
- 海外大学における国際的ビジネススキルの習得等、県内企業の海外展開に必要な国際人材を育成するための取組みが必要である。

### ねらい

- ・県内企業がI o TなどのI T技術を活用した生産や販売の仕組みを導入し、生産性向上や販売力強化等により競争力を高めるため、これらの技術革新を使いこなすことのできる人材の育成を図る。
- ・県内企業の海外展開や国際競争力の強化のため、外国語でのコミュニケーションやプレゼンテーション能力、異文化理解等に通じた人材の育成を図る。

### 施策の展開

- ◆I o T等を活用した自ら考える工場（スマート工場）の導入を支援するため、I o T活用に関するセミナーを実施
- ◆I T経営の専門家や大学等の研究機関などで構成するプロジェクトチームを県内企業へ派遣し、I T・I o Tの導入可能性を調査するとともに、導入事例紹介や導入方法を助言
- ◆ふくい産業支援センターにおいて、I o Tやビックデータ解析、ロボット等の最新I T技術を活用する研修を実施
- ◆介護、建設等人手不足分野におけるロボットの利活用を推進するため、労働環境改善や作業自動化に向けたロボットシステムの構想・設計・導入を担うロボット導入促進人材を養成
- ◆県内企業の若手幹部候補等に対し、本県と交流のあるフィンドレー市・大学において英語でのビジネスコミュニケーションやプレゼンテーション能力等を習得するための派遣研修を実施し、国際ビジネス力を強化し、海外で通用する人材を育成
- ◆長期海外留学生に対する支援等、福井県アジア人材基金によるアジアで活躍できる人材の育成

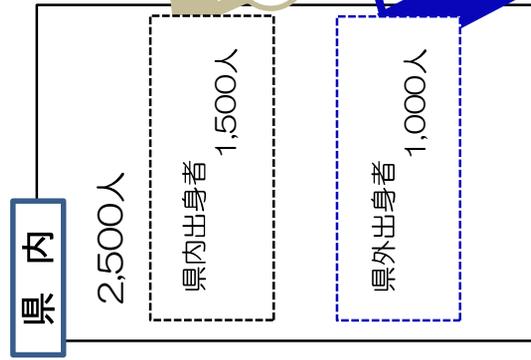
# 大学卒業時の若者流出が地方創生の課題

自立と分散で日本を変えるふるさと知事  
ネットワーク 第11回会合  
H30.1.22 [福井県]

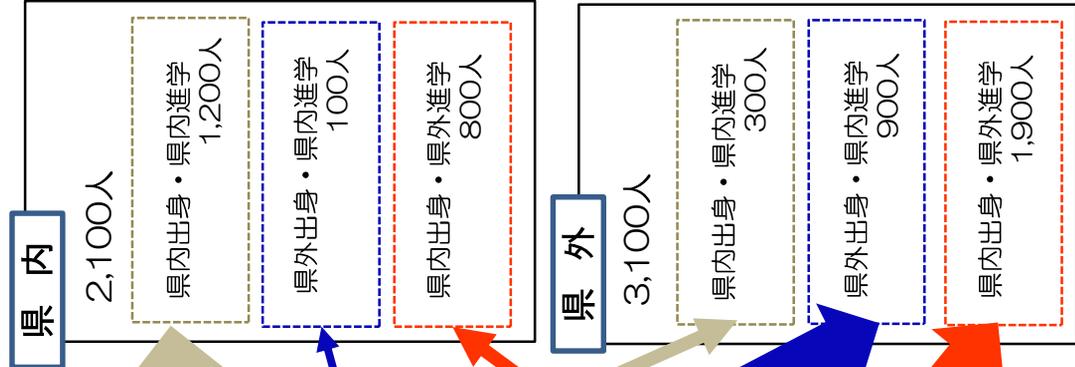
## (1) 多くの若者が大学卒業時に県外へ流出

### 福井県の現状 (概数)

< 大学進学時 >



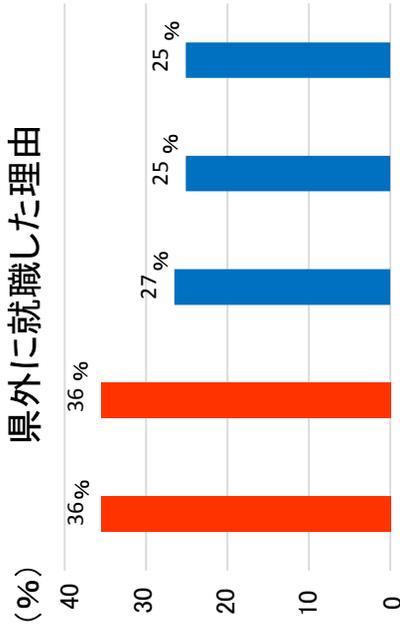
< 就職時 >



県外出身者の  
定着率1割

県内出身者の  
Uターン率3割

## (2) 多くの若者が県内で働くことに魅力を感じていない



都会が魅力的な企業なし  
大学の仲間なし  
志望職種なし  
大企業希望

県内外に在住する本県出身の20～30代の男女2500人に調査、回答数:765人  
(福井県による若者のUターン意向調査(平成26年度))

### 若者の県外流出を防ぐには

- ① 県内企業や県内で働く魅力を伝える
- ② 地場産業の魅力を高める
- ③ 地域独自の魅力を高める

ことが必要

大学の力を活用することが効果的